

平成30年度 第2回太田地域協議会会議録

平成30年6月26日

太田地域協議会

平成30年度 第2回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■報告	3
(1) 太田地域枠予算活用事業実績報告	3
(2) 地域公共交通の再構築に関する意見書の提出について	4
(3) 大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業について	7
■協議	7
(1) 平成30年度地域枠予算執行事業について	7
■その他	11
■閉会	15
■署名	16

平成30年度 第2回太田地域協議会 会議録

■日 時：平成30年6月26日（火） 午前10時01分

■会 場：太田支所 2階 会議室

■出席委員：11名

水谷 英明、伊藤 勝良、小柳 真理子、根本 昇、
富木 勇、長澤 仁十郎、清水川 絵美、鈴木 賢一、
水谷 仁光、倉田 吹紀子、佐藤 田鶴子

■欠席委員：6名

小松 泉、高橋 洋、倉田 満法、高橋 睦子
小松 江里子、川原 猪利

■出席職員：7名

谷口 藤美（太田支所長） 藤澤 寿史（市民サービス課長）
野中 正幸（農林建設課長） 黒澤 伸朗（太田公民館長）
倉田 康弘（東部新規就農者研修施設副主幹）
高橋 正人（地域活性化推進室副主幹） 本間 雅詞（地域活性化推進室主席主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 報 告
 - (1) 太田地域枠予算活用事業実績報告
 - (2) 地域公共交通の再構築に関する意見書の提出について
 - (3) 大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業について
- 6 協 議
 - (1) 平成30年度地域枠予算執行事業について
- 7 そ の 他
- 8 閉 会

(午前10時01分 開会)

○谷口太田支所長（以下「支所長」と表記）

それではほぼ定刻となり、少し早い時間ではありますがただいまから第2回太田地域協議会を始めさせていただきたいと思っております。会議を始めます前に、本日の協議会は委員の2分の1以上の方が出席しておりますので、会議が成立することをご報告いたします。

また、会議録作成のために発言の際はマイクを使ってくださるようお願いいたします。会議の進行につきましては、規定により水谷会長をお願いいたします。

○水谷太田地域協議会会長（以下「会長」と表記）

本日は天気もよく、外仕事日和のなか会議にご出席くださりましてありがとうございます。いろいろと毎日ニュースがありますが、久しぶりにサッカーの話題で盛り上がっております。サッカーは世界的なスポーツで今まではなかなか難しかったところではありますけれども、日本代表が今回は頑張ってくれていまして楽しみな部分もあると思っております。

今日は協議する事項がたくさんありますが、皆さまから活発な意見をたくさんいただきたいと思っております。また、協議報告案件だけでなく、その他のところでも委員の皆さんから活発な意見交換をお願いできれば助かります。今日もどうかよろしくようお願いいたします。それでは、ただ今より第2回太田地域協議会を開会いたします。開会にあたりまして谷口支所長よりご挨拶をお願いいたします。

○支所長

おはようございます。本日は貴重ないいお天気の日にご出席いただきまして誠にありがとうございます。情報では明日から明後日にかけて雨が降るという報道がされております。私どもの方にも関係機関から明日の朝から24時間に100ないし200ミリの強い雨が降るという情報も届いており、警戒を強めているところでございます。梅雨入り宣言ののち、これまでは比較的いい天気が続きましたが、梅雨明け宣言が出されるまではまだ日数がありますし、昨年の7月には大雨による災害が発生しまして大仙市西部では大きな被害が出てしまったところでもあります。今年は雪が多かった年でもあり、雨につきましてはほどほどの降雨量としてもらいたいと思っております。

4月24日に第1回太田地域協議会を開催させていただいたところでありますが、案件としましては4件ほどでありまして、30年度が始まってまだ間もない時期で案件も少ない会議でございましたが、今回は地域予算の関連案件だけで8件ということで、農作業では田植えも終わり、これからはさまざまな組織の動きが活発化してくる時期であります。こうしたことの表れでもあるような気がします。委員各位におかれましてはどうかスムーズな案件審議にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

今月の21日でしたが、午前中に行政協力員会議を、午後からは自主防災組織の会議を、最後に自治組織連絡協議会の総会を開催いたしました。1日に3つの会議をいたしました。その際に地域枠予算の説明をさせていただいております。これまでもそのようなお話をさせていただき、活用を促しているところでございますが、今年度は400万円ほど増額してもらったという事もありまして、今年は特に積極的に活用をお願いしたいと説明しております。今回以降ですが、こうした働きかけにより地域や団体からの申請が上がってくることも想定されますが、地域の活性化につながるものでもございますので、委員の皆さまの地域からも地域枠予算を活用できる事案がございましたらどうか積極的にご活用いただけるよう、地域の方々にPRや説明などお願いいたします。

本日はどうかよろしくお願い申し上げます。

○会長

ありがとうございました。

次に、次第4「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。

会議録署名委員は、長澤仁十郎委員、鈴木賢一委員をお願いいたします。

次に、次第5「報告」に入ります。(1)太田地域枠予算活用事業実績報告について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【 (1)太田地域枠予算活用事業実績報告について、配付資料に基づき説明 】

○会長

ただいま事務局から説明がありました。地域枠予算の実績報告についてご質問等ありましたらお願いいたします。はい、伊藤委員。

○伊藤勝良委員（以下「伊藤委員」と表記）

伊藤です。黄桜まつりについてです。私当日行きたかったのですが時間がなく、夕方4時ころに行ってみたんですが後片付けが終わる頃でして、大変残念でした。その日の来場者の方からの意見ですが、催事の場所と桜が咲いている場所が離れていて、黄桜はこっち、催事はこっちという風で、天候の影響もあったかと思えますけれどもできれば一緒に楽しめるような会場配置にしてもらえればいいのかなという事でございました。

○藤澤市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

貴重なご意見ありがとうございます。実行委員会でも協議しておりましたが、天気がよければ黄桜の桜並木付近に出店ブース等を設営し、会場を一体化する予定でありましたが、まつり当日の朝に天候等を協議し、前に実施したこともありましたが悪天候時の開催場所としてロジック下で物販ブース等を作るということで決定をいたしました。ご理解を頂きたいと存じます。また、時間につきまして3時で終了という事を知らないで来場いただい

た方もいらっしやったかと思います。周知の方法や情報伝達、会場の設営案の検討等も含め、来年以降のまつり開催へとつなげて参りますので、今後も忌憚のないご意見をいただけます様お願い申し上げます。

○会長

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

すいません、一つよろしいでしょうか。会場に設営するのぼりについてですが、写真を撮ると桜並木の下に黄色いのぼりが大きく入り込むように設置されています。まつりの開催をアピールするためのものなのでいいと思いますが、黄桜並木の写真を撮りに来られる方もたくさんいます。もし可能であれば写真撮影用区域のような、のぼりのない黄桜並木を部分的に用意するという事は可能なものでしょうか。

○市民サービス課長

会長のお話のとおり、実行委員会としてはまつりの開催をPRするために設置しているのぼりです。ですが、そういった要望もおありかと思しますので、配慮しつつ設置して参りたいと思います。

○会長

わかりました。例えばですが、道路の反対側だけに設置するとか、アイデアもあるのではないかと思います。他にございませんでしょうか。

それでは、他になさそうですので、(1)はただいまの報告のとおりといたします。

次に(2)地域公共交通の再構築に関する意見書の提出についてであります。事務局から説明をお願いいたします。

○市民サービス課長

【(2) 地域公共交通の再構築に関する意見書の提出について、配付資料に基づき説明】

○会長

ただいま(2)について事務局から説明がありました。地域公共交通についてであります。ご質問等ありましたらお願いいたします。

○支所長

本日委員の皆さんは自分の車で自分で運転してここまで来られたと思います。また、医療機関や金融機関、商店など、主要な出掛け先へも同様に自分の力で移動できると思います。それゆえ、このようなお話をされても、意見を頂きたいと言われてもなかなかピンとこない部分もあろうかと思えます。

これにつきましては、将来的に自分も年を重ね、免許の返納や自分で運転できなくなったという未来の自分を想像して考えて頂きたいものであります。例えばバスであれば、一

日に何本かという時間の限られた運行のなか、自分でどこかに出かけていく、用をこなすとなった時、どのような面で便利であればいいのかなとそういう発想を持って頂きたいと思います。

何より私自身もそこまでまだイメージできないのですが、例えば今であれば家の若い人が送り迎えをしてくれたりという事もあるかもしれませんが、将来共働き世帯が増え、どこの家でも今までと同じような送迎ができなくなるといった状況になる事も想定されます。そうなった時に太田地域ではどういった方向へ公共交通を充実させていくべきか、まず最初に解決すべき課題はどんなものか、という未来の問題を想定してほしいと思います。

10月には大仙市長がこの会議に参加して、委員の皆さんから直に意見を伺いたいという事で進めていく予定になっております。

現状としましては、太田地域全般で利用率が下がってきております。乗り合いタクシーへ切り替わってからもその傾向は変わっておりません。おそらく、高齢になられたドライバーの方が「まだ自分で運転できる」という判断で自分で移動なさっている、そういう方が増えている面もあろうかと思えます。

長期的な視点で取り組んでいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○会長

ありがとうございました。はい、水谷委員どうぞ。

○水谷仁光委員（以下「水谷委員」と記載）

この意見書の提出につきましては必要なことであり、理解できるものであります。大変重要な問題でもありますから、しっかり取り組みたいと思います。

ただ、これだけの問題に対して、これだけでいいのか、我々地域協議会の委員からだけの意見提出でいいのかと思うところですが、どうでしょうか。もっとやれることがあるんじゃないかと思うのですが、たとえばですが、太田支所で毎月発行して配布しているカレンダーがありますが、あれの裏面に毎回とてもいい事が記載されています。このスペースを活用して、今支所長が話したようなことを、これ、本当に大事なことで大きな問題ですから、地域の住民の方に「これからどうしましょうか」という事で考えてもらうということはどうでしょうか。そうすると、今公共交通を使って生活しているという人からも意見をもらえるのかなと思いますし、これからこうあってほしいという意見もいろいろ寄せられるのではと期待が持てると思います。あと、意見の集め方も、大きな問題として一つ大きく聞くこともいいですが、たとえば「これはどうですか」「次にこちらはどうですか」というような小分けにして聞いてみるのもいいと思います。あとは支所に電話でもいいでしょうし、書面で出してもらえるのであればそれもいいだろうし、意見を聞きに来てほしいというニーズであれば行けばいいでしょう、そうやって意見を集めていけば私たちの意見とも合っていくのではないかと思いますがいかがでしょうか。

○市民サービス課長

ご意見ありがとうございます。ただ今のお話のとおり、市民からのご意見が一番大切であると私どもも考えております。7月1日配布の広報に、この地域公共交通に関するアンケートが同封される予定です。そちらを経由して市民の声を聴けることもあろうかと思っております。また、この地域公共交通につきましては市役所に検討チームが組織されておりまして、私は月1回その会議に出席しております。そこで今いただいた意見を上げていく事も可能ですし、太田地域協議会からは代表としてその会議に清水川委員からも出席をお願いしているところです。いろいろな方法がありますが、地域の声をこうした形で検討の場に出して参りたいと思っておりますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

○水谷委員

わかりました。

○会長

すいません、今の水谷委員の意見に関して私からも一つお願いなのですが、委員の皆さんは地域の代表の方であったり、仕事や団体などでいろいろな方とつながりがあると思っております。そうした中で、今水谷委員から意見のあったような事をできれば地域の住民の皆さんから集めてほしいと思っております。そうした地域の声を委員からご提出いただく意見書に盛り込んでいただければ、より内容の濃いものになるのではないかと思いますので、大変ご難儀をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

○支所長

意見書の作成は非常にご難儀をおかけしますが、どうかよろしくお願いいたします。いろいろと制約があるかもしれませんが、お出しいただいた意見を実現できるよう努力して参ります。

○水谷委員

それについてですが、最初から「予算がないからできません」とか「きまりがあってできません」という縛りがあるお願いであればなかなか意見を出しにくいのですが、どのような意見書を作ればいいのですか。

○市民サービス課長

まずは、地域住民が地域公共交通に対してどのような意見を持っているか、それを吸い上げたいと思っております。意見書の作成につきましては、委員各位の意見を率直に記載頂きたいと思っております。現時点では制約事項は考えないでください。自由な発想で改善策やいろいろなアイデアをお寄せいただきたいと思います。

○会長

先日たまたま東部地区の介護事業者の集まりがあつて、この問題について実情等を参加者と情報交換してきたところではありますが、利用率が伸び悩んでいる原因の一つに、バスを使いたい人はたくさんいるだろうけれども、バス停までいく事ができない人が多いことがあるだろうと。それを是正するためには例えば行程を変更するための変更申請等、いろいろと手間をかけなければいけないだろうけれども、もはやそういった根本的なレベルから直していく必要があるように感じます。この会議で出された課題等は私の意見書に入れたいと思いますが、我々が作成する意見書の時点では法律や予算という制約は考慮せずに作っていきたいと思います。

それでは、ただ今の報告につきましては事務局の説明のとおりといたします。

次に、(3)大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【 (3)大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業について、配付資料に基づき説明 】

○会長

ただ今、事務局から説明がありました。協和地域での申請事例の報告でありましたが、ご質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

質問等なさそうですので、ただ今の(3)につきましては事務局からの報告のとおりといたします。

それでは次に次第6の協議に入ります。(1)の平成30年度地域枠予算執行事業について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【 (1)の平成30年度地域枠予算執行事業について、配付資料に基づき説明 】

・実施類型【②市民協働型】

1. 太田の夏まつり開催支援事業

事業目的：太田地域に継承される伝統文化等へ触れ合う機会の創出や、地域の人々の交流による心の温かさ、ふるさとの良さ、愛郷精神の醸成や地域の文化・資源などを再確認することを目的とした「太田の夏まつり」の開催を支援するもの。

申請団体：太田の夏まつり実行委員会

申請額：819,000円（消耗品費、使用料、保険料、備品購入費）

2. はじめての「野球体験会」開催支援事業

事業目的：野球に触れたことのない子どもたちを対象に体験会を実施。野球により早く触れることでその楽しさを体験し、地域の野球振興とスポーツを通じた子どもたちの健全育成を図ることを目的とした体験会の開催を支援するもの。

申請団体：太田地域スポ少野球指導者保護者の会

申請額：50,000円（報償費、消耗品費）

3. 川遊び体験支援事業

事業目的：魚のつかみ取り体験などを通して自然に親しみ、ふるさとの良さや人とのつながりを再確認し、地域に誇りを持たせるために実施する「川遊び体験」の開催を支援するもの。

申請団体：みずほの里いきいきネット協議会

申請額：76,000円（消耗品費）

4. 東北地区高等学校野球交流試合開催支援事業

事業目的：地元高校野球のレベルアップや審判技術の向上を図ることを目的に、大曲農業高校太田分校をはじめ、市内及び近隣の高校、東北各県の高校による交流大会の開催を支援するもの。

申請団体：大仙市軟式野球連盟太田支部

申請額：82,800円（消耗品費）

5. 第20回奥羽太田ロードレース大会開催支援事業

事業目的：毎年10月の体育の日前後に開催される大会で、今年は20周年の記念大会となっている。大会参加者や太田地域の子供たちにメダリストとの交流の機会をもってもらい、技術の向上に資するとともに地域活性化につながる大会の開催を支援するもの。

申請団体：奥羽太田ロードレース大会実行委員会

申請額：1,290,000円

（報償費、消耗品費、印刷製本費、郵便料、委託料）

・実施類型【③市民主導型】

1. 太田中学校被災地交流事業費補助金

事業目的：東日本大震災以降、全校体制で被災地支援・被災地交流事業を行っている太田中学校が今後も事業を継続できるよう、活動に対する支援を行っている太田中学校応援隊に対して補助金を交付し、復興支援活動をサポートするもの。

申請団体：太田中学校応援隊

申請額：150,000円（補助金）

2. 民謡「秋田おはら節」講習会開催支援事業補助金

事業目的：哀調を帯びた独特の節回しで知られる秋田おはら節だが、全国大会への出場者が減少傾向にあり、大会開催が危惧されていることから、秋田おはら節の普及と次世代の歌い手の育成・継承のための講習会を開催する太田町民謡同好会に補助金を支出するもの。

申請団体：太田町民謡同好会

申請額：100,000円（補助金）

3. 太田花の里づくり推進事業補助金

事業目的：少子高齢化の影響で会員が減少傾向にあり、コンクールへの出品も年々減っている状況にあるが、花の里づくりをこれまで同様に展開したい申請者（おおた花の会）の事業を支援するため、補助金を支出するもの。

申請団体：おおた花の会

申請額：212,456円（補助金）

○会長

ただ今、地域枠予算の申請について8件の説明がありました。委員の皆さんからのご質問等ありましたらお願いいたします。伊藤委員どうぞ。

○伊藤委員

伊藤です。説明の最後にありました奥羽太田ロードレース大会についてなんですが、私も前に参加させてもらったりしていたのですが、確か去年の大会でもそうだったと思うのですが、ゼッケンを服にとめるための安全ピンを確か自分で持ってきてくださいというルールだったかと思います。こういうルール実はちょっと他の大会では考えられなくて、当日忘れてしまうと用意するのがなかなか難しくなってしまうので、参加者もたく

さんいらっしゃる中でこのような点が改善されればと思いますので改善してもらいたく提案させていただきます。

○黒澤公民館長（以下「公民館長」と表記）

ご意見ありがとうございます。お知らせいただいた内容は早急に改善し、ご不便をかけるないように準備したいと思います。

○会長

伊藤委員、よろしいですか。他にご意見ございましたらお願いいたします。

（「なし」の声あり）

それでは、ご意見等他にないようですので、質疑を終わります。
お諮りいたします。

はじめに、太田の夏まつり開催支援事業につきまして、地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○会長

異議なしの声がありますので、地域枠予算事業として承認いただいたものといたします。

次に、はじめての「野球体験会」開催支援事業について、地域枠予算事業として承認してもよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○会長

異議なしの声がありますので、地域枠予算事業として承認いただいたものといたします。

次に、川遊び体験支援事業について、地域枠予算事業として承認してもよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○会長

異議なしの声がありますので、地域枠予算事業として承認いただいたものといたします。

次に、東北地区高等学校野球交流試合開催支援事業について、地域枠予算事業として承認してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

異議なしの声がありますので、地域枠予算事業として承認いただいたものといたします。
次に、太田中学校被災地交流事業費補助金について、地域枠予算事業として承認してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

異議なしの声がありますので、地域枠予算事業として承認いただいたものといたします。
次に、民謡「秋田おはら節」講習会開催支援事業補助金について、地域枠予算事業として承認してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

異議なしの声がありますので、地域枠予算事業として承認いただいたものといたします。
次に、太田花の里づくり推進事業補助金について、地域枠予算事業として承認してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

異議なしの声がありますので、地域枠予算事業として承認いただいたものといたします。
最後に、第20回奥羽太田ロードレース大会開催支援事業について、地域枠予算事業として承認してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

異議なしの声がありますので、地域枠予算事業として承認いただいたものといたします。
以上をもちまして、今回申請のありました8件につきましては、全てご承認をいただきました。事務局におかれましては申請者、申請団体へ周知するとともに、事業の円滑な執行に協力いただきますようお願いいたします。

これで本日の報告並びに協議を終了いたします。次に次第7のその他に入ります。委員の前に事務局から連絡事項があるようですので、先に事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【以下の案件について、今後の予定並びに日程案等を説明】

- (1) 平成30年度 大仙市地域協議会委員全体研修会
- (2) 平成30年度 東部地区地域協議会委員合同研修会
- (3) 地域公共交通に関する大仙市長との意見交換会
- (4) 「地域の魅力再発見事業」太田分校レストランの開催について

○会長

事務局から説明が終わりました。何かご質問等ありましたらお願いいたします。
質問等は特になさそうですが、それでは委員の皆さまから何かご意見ありましたらお願いいたします。はい、伊藤委員お願いします。

○伊藤委員

毎回話題にあがっているのですが、クマの出現情報についてであります。昨日中里地域に出現したという事でパトカーや広報車が走って情報提供してくれていましたが、午後になるとこうした動きがパタッとなくなり、どうなったのかなと思っておりました。今後も何回もこのような機会があると思いますし、どこに出るかというのはわからないのですが、これまでの傾向として川沿いに下りてくるという事があるのではないかと思います。例えばですが、橋の欄干にドライブレコーダーを取り付けて記録することで動きを掴めるのではないかと思います。今だと5千円くらいで購入できますので、こんなアイデアはいかがでしょうか。また、ドローンを上空に飛ばすことで広範囲に確認できる方法もあります。地域予算でこうした事業を展開してみるのも一つではないかと思います。

○野中農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）

貴重なご意見とご提案をありがとうございます。昨日は午後より情報提供がなくなってしまい、不安を解消させられず大変反省いたしております。情報の周知が不足していたと思います。昨日の出没情報を整理しますと、朝の5時ころに清水地域に出現したというところから始まり、9時ころに中里の方へ、古四王神社の付近の畑に子グマと思われる個体が出現したとの通報がありました。それを受けましてご承知のとおり広報車を走らせて周知し、猟友会等も現場に出ただき、川の周辺を捜索していただいたところでありませぬ。残念ながらクマそのものの発見には至りませんでした。

先ほどご提案いただいたドローンとドライブレコーダーによる発見監視の仕組み構築につきましても価格や機能を検討しつつ進めたいと思いますが、例えばレコーダーについては、安いものであれば衝突時のみの記録機能しかついておらず、24時間通しての記録ができなかったりしますので、まずは設置そのものをできるかどうか検討したいと思います。

協和地域の例ですが、昨年の捕獲数について言えば50件ほどありました。ところが太田地域となりますと、我々はこんなに近くにいると思っていながら件数は少ないです。去年はわずか5頭しか駆除できませんでした。先日金井伝地域から通報がありまして、捕獲用の罠を設置しています。捕まるときはすぐに捕獲できるのですが今回はもうすでにこの地にはいないのか、捕まっておりません。こうした件数が少ないのも、山に慣れた人であれば通報しない傾向があるのかもしれないと思います。通報してくれるのは太田地域内を走行中の他地域からの人からというケースが多いと思われる。

ドローンについてもとてもいいアイデアだと思いますが、まだ市役所として保有しているものがないうえに、たまに職員で個人的に保有しているものを見かける時もありますが、お話いただいたような事はたしてできるのかどうか、検討していきたいと思います。すぐに着手できるかどうかとなりますとすぐには動けないのが本当に恐縮ではありますが、今後のクマ対策と合わせていろいろなアイデアを組み合わせたいと思います。

○清水川絵美委員（以下「清水川委員」と表記）

清水川です。自分の近所の話の話を聞くと「割と見ている」という意見を聞きますが、通報したかというとおそらく通報していないと思います。他の地域に比べて通報数が少ないという話でしたが、通報するという事自体あまり周知されていないのではないかと思います。そのあたりはいかがでしょうか。

○農林建設課長

残念ながら、通報するという意識はあまりないのではないかと思います。というのも、例えば自分の家のすぐ近くに出て、農作物を荒らされるとか自宅を壊されるとか、危害を及ぼされる可能性があるとして初めて通報という事になるのではないかと思います。通報につきましてはまずは警察へ第一報をお願いしたいと思います。そこからすぐにこちらへも連絡が入ります。そして学校等への緊急通報メール等へとつながって参ります。これが例えば美郷町さんであれば行政無線で該当地域にすぐに知らせることができる訳ですが、太田地域では残念ながらそれがありません。その上、FMはなびではこうした情報提供をできるのかよくわかりませんので、今後はこのようなラジオ等の情報媒体で即時連絡できる仕組みを考えて参りたいと思います。

○清水川委員

通報の件数等で、実際の頭数や危険箇所等の把握につなげるといった事にもなるかと思うのですが、そういった事のためには通報までは不要という感じなのではないでしょうか。

○農林建設課長

発見した際は通報するという事でいいと思います。ただ、逆にクマの存在に慣れてしまっているというのが怖いところでもあります。通報率が向上するかといえ果たしてどうかと思います。

○会長

他にありませんか。はい、水谷委員。

○水谷委員

水谷です。事務局でも把握していると思いますが、奥羽山荘奥のグラウンドゴルフ場入口にある看板があるのですが、誠にひどい状況です。来場者をようこそと出迎えて、お帰りの際はどうか気を付けてという太田地域の気持ちを示してある看板だと思うのですが、今の状態だと逆になくしてしまった方がいらいに汚く、みすぼらしく壊れています。あのままだと、強風で通行中の車に破片が飛ぶ等という事故も発生する可能性があります。状況を十分にご存じかと思いますが、何らかの手当てを強く望むものであります。

○支所長

ご指摘の件ですが、私去年まで市民サービス課長をしております、状況は十分把握しております。その上で修理費を財政課へ要求してきておりますが、残念ながら予算がつかえません。今年の当初予算にも何度目かの予算要求をいたしました。これも予算化されませんでした。市の判断としては「修繕しなくてもよい」という事のように、今のお話のとおり予算要求時点からはもっと損傷が進んでいる状況にあることですので、再度財政当局へ予算化を強く要望して参りたいと思います。

○水谷委員

大変申し訳ない言い方になってしまいますが、地域の看板をそのような形で放置しておくという姿勢に、情けないと思います。あれがもし自分の家の状況だとすればどのように感じますか。年間あれだけの来場者があって、壊れている状況を知っていて、一つも何も直せないで放置しているっていうのは、ちょっと考えられないと思います。財政で予算がつかないというのであれば、この地域協議会の場でみんなで協議して、地域枠予算で対応していけばいいと思います。今この場で「今まで何回も要望して、協議して、それでもダメでしたがどうにかまた協議してみる」というのは少々誠意がない対応ではありませんか。もっと前向きな意見がほしかったです。

○市民サービス課長

今後も粘り強く交渉し、早期に修繕に向かっているよう我々も頑張ります。

○会長

今の水谷委員の話ですと危険性も含んでいるようなお話でしたけれども。

○水谷委員

あんな状態で放置しておく自体考えられないです。あの横の道路も車が通行しますし、

表面の看板が何枚か外れて壊れているんですよ。あれは風が吹けば板は飛びます。危ないです。あのまま放置ということは危険すぎます。何かしなければいけません。

○会長

予算の獲得等を通して看板の対応を早期にとっていただきたいと思います。

さて、本日も大変長時間にわたるご審議、ありがとうございました。今日の説明にもありましたけれども、ひとづくりものづくり応援事業についてであります。今月17日にも審査会が予定されておりまして、確か南外地域の案件だったと思いますがそこで審議される予定となっております。この事業には予算が高くついておりまして、太田地域からも誰か申請をしてもらえたらいいなと思っています。例えば先ほど伊藤委員からお話のあったクマ対策についてですが、若い人たちでそういう目的の団体を組織して、ひとづくり応援事業に申請してみるとか、有効活用を図れるのではないかと思います。予算額も大きいので、300万、500万でしたっけか、確か結構な額で申請可能ですので、ドローンとかもそこで手配できるんじゃないかなと思ってでした。こうした事業もありますので、地域の方からも活用していただけますよう、情報提供や発信をよろしく願いいたします。

これもちまして本日の会議を終了いたします。お疲れさまでした。

(午後0時2分 閉会)

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定により、ここに署名する。

会議録署名委員

長 澤 仁十郎

鈴 木 賢 一
